

(様式1)

## 平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 114	提案機関名 神奈川県山林種苗協同組合
<b>要望問題名</b> 無花粉スギの実用化に向けた安定供給の確立と無花粉ヒノキの早期選抜について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】  無花粉スギの研究成果により生産を始めることができましたが、山林へ植栽し無花粉スギによる森林を造成するには多くの苗木生産を必要とします。 現在の種子採取量では苗木の生産量が限られるため、無花粉スギ苗木の安定生産ができるよう生産技術の開発を要望します。 また、無花粉ヒノキについては選抜を早期に実施する試験研究課題の設定を要望します。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター    ②畜産技術所    ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備 考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	神奈川県自然環境保全センター	<b>担当部所</b>	研究連携課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 花粉症対策ヒノキ・スギ品種の普及拡大技術開発と雄性不稔品種開発		
<b>対応の内容等</b>	「無花粉スギの生産に関しては、現在花粉症対策ヒノキ・スギ品種の普及拡大技術開発と雄性不稔品種開発」課題で取り組んでおり、問題となっていた無花粉率の低下原因の解明等、成果を得ています。しかし、種子の安定的な大量生産には、閉鎖系施設の課題が残されており、さらに検討を進める必要があります。また無花粉ヒノキに関しては、選抜調査を進めており、その実用化には、さらに課題解決を図る必要があります。実施中の課題が今年度で終了することから、外部資金を活用して、無花粉スギ、ヒノキの実用化を進めるための、新たな課題設定を進めてまいります。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備 考</b>			